

独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)
令和6年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
事例紹介（以下のスライドはすべて当日行った口頭報告の
補助資料である）

地元企業との連携によるキャリア教育・就職支援 ～①レクチャーとワークショップ②企業見学③就業体験 の三本柱から～

新潟大学 国際センター&キャンパスライフ支援部門
キャリア・就職支援オフィス

准教授 蒙 韞（韞）（MENG Yun）（もう ゆん）

株式会社渡邊製作所 総務経理部／採用担当

渡邊 明子（わたなべ あきこ）

本日の流れ

1. 今回の新潟地元企業との連携によるキャリア教育・就職支援の背景・目的・詳細
2. 今回の連携先である新潟地元企業の紹介・連携への評価や気づき
3. 今回の三本柱から分かったこと
4. 今後の予定や課題

1. 今回の新潟地元企業との連携による キャリア教育・就職支援の背景

◇学内の連携

- ・ 国際センター
- ・ キャンパスライフ支援部門 キャリア・就職支援オフィス

◇学外の連携

- ・ 日本貿易振興機構（JETRO）
- ・ 新潟県の製造企業（株式会社渡邊製作所）



JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

WATANABE



1. 今回の新潟地元企業との連携による キャリア教育・就職支援の目的

以下の三本柱から、地域の産学連携による地域グローバル人材
(外国人留学生と日本人学生)のキャリア教育・就職支援
をさらに進化させたい！

①レクチャーと
ワークショップ

②企業見学

③就業体験

1. 今回の新潟地元企業との連携による キャリア教育・就職支援の詳細

☆地域と世界をつなぐ産官学連携の全学向けの国際共修科目 (外国人留学生と日本人学生) の一環

<第一学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA」

※株式会社渡邊製作所との連携 (2023年5月～8月)

①レクチャーとワークショップ (授業活動、履修生全員参加) :

2023年5月25日 (木)

②企業見学 (授業外活動、希望履修生のみ参加) :

2023年6月17日 (土)

③就業体験 (授業外活動、希望履修生のみ参加) :

参加学生の都合により、同じ内容を2回実施

一回目：2023年8月17日 (木) ～18日 (金) 二日間

二回目：2023年8月28日 (月) ～29日 (火) 二日間

<第二学期：週一 90分>

「グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB」

①レクチャーとワークショップ (授業活動、履修生全員参加) :

2023年5月25日 (木)

☆履修生：合計37名（外国人留学生27名と日本人学生10名）

<外国人留学生>

【出身】 オセアニア2名／ヨーロッパ4名／東アジア20名／東南アジア1名

【性別】 男性10名／女性17名

【学年】 学部1年生1名／学部2年生3名／学部3年生14名／学部4年生8名／
大学院2年生1名

【文系・理系】 文系23名／理系4名

【カテゴリー】 正規生2名／交換留学生25名

【日本語レベル】 日本語能力試験N1 合格者8名／N2合格者11名／N3合格者6名／
N4合格者1名／日本語能力検定未受験者1名

<日本人学生>

【出身】 新潟県内1名／新潟県外9名

【性別】 男性4名／女性6名

【学年】 学部1年生7名／学部2年生2名／学部3年生1名

【文系・理系】 文系7名／理系3名

【カテゴリー】 正規生10名

【英語レベル】 英検2級合格者3名／準2級合格者2名／IELTS 5.5合格者1名／
GTEC 964点取得者1名／英語能力検定未受験者3名

☆全体構成

- 1.事前課題（一週間前）：本番ワークショップの学生の事前準備
 - (1)「海外向けに、WATANABE製品の魅力やいい所を伝える効果的なプロモーションとは？」について、学生に考えてもらい、その提案をPadlet（ICTツール）に書いてもらった。
 - (2)学生に、日本語、あるいは英語でWATANABE製品の紹介ビデオ（5分以内）を作ってもらい、Padletに公開してもらった。
- 2.レクチャーとワークショップ本番
 - (1)レクチャー：渡邊製作所が会社・事業・顧客・モノづくり・製品・グローバル人材採用と育成方針を紹介&説明した。
 - (2)渡邊製作所がグローバル展開の際、ぶつかった課題を提示した。
また、その課題をめぐって学生にグループ・ディスカッションと解決策を発表してもらい、渡邊製作所がコメントしたり、学生と議論や意見交換をしたりした。
- 3.事後課題（一週間後）：1.と2.に関する学生の自己評価・振り返り

①レクチャーとワークショップの 事前課題に関する履修生全員の評価

今回の事前課題は、86%の履修生が肯定的に評価した。

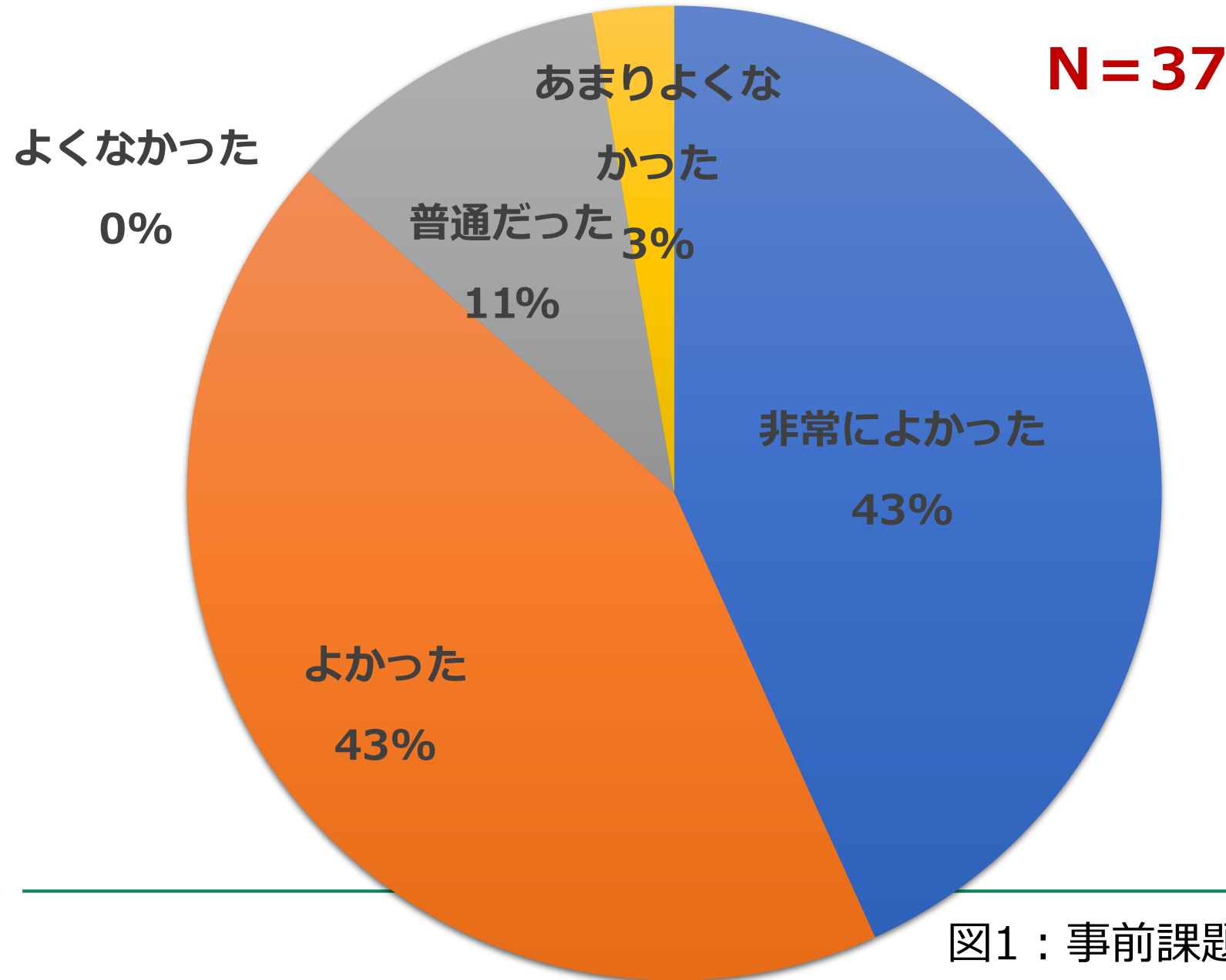


図1：事前課題への評価

今回の事前課題から学べたこと・気づいたこと

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

日本人学生

外国人留学生

- ・①自己満足でなく、相手に魅力を伝えるのは難しいということ ②動画は情報量が多い分工夫をしなければよくわからないものになってしまうため、「何を伝えたいか、そのために何を映すべきか」をよく考えないとならないこと
- ・①マーケティングのターゲットを絞り、それにに向けたプロモーションをすることは顧客の獲得につながる
- ②国や文化によってマーケティングやプロモーションの方法を変える必要があると知ること
- ・①中小企業が大企業、日本の社会を支えていること
- ②日本のすごい技術がまだまだ世界に知られていないという現実 ③PRの方法は多様に無数にあり、難しいということ ④商品の利点、比較のまとめがあると分かりやすいこと
- ・①どんなに良い製品を作ってもプロモーションの仕方を間違ってしまうと多くの人に製品の良さを知ってもらえないこと。②製品の宣伝をする時は配慮が必要だと気付いた。日本製の製品でも中国語や英語の字幕を付けておくと、より多くの人に知ってもらうことができるため、どんな人が見ても伝わるように配慮するべきと感じた。
- ・企業が行うキャンペーンなどの戦略には、ちゃんと考えられていて意味があること
- ・事前課題を通して未経験の物事に挑戦する勇気や積極的に行動しようという心意気
- ・グローバル企業の具体像を掴むことができた

- ・①商品を紹介する時、簡単な言葉を使うことは重要であること。また、ある程度、ナレーションを使わなくてもいい結果をもらえること ②短く簡潔にまとめることが大切であること ③世界向けの商品紹介ビデオを作る場合、多言語化は必須である。同時に、その国の特徴を残すことも重要であること
- ・ビデオをどのようにして作成できるのかについて勉強になった。実際、自分は今までビデオを作成した経験がなく、初めてのことがたくさんあり、色々と調べるうちに長い時間を費やしてしまったが、結果的に無事作成にこぎつけることができた。どの困難があっても、諦めずに適切な計画を立てて臨めば不可能ではないということ。
- ・①how to try to find the important information that I and others can understand ② how to find an appeal of a product even if you have never heard of it ③trying to use a limited amount of information in a field you are not aware of and trying to make something logical
- ・広告を配信するSNSなどは、販売先（国）によって、異なるため、その宣伝方法を変える必要があること
- ・①営業するにはその売ろうとする製品に対して具体的に知ることが第一歩だということを学んだ。②日本語を使いながら営業することの難しさが初めて分かった。しかし、この事前課題により、自信を持って挑戦することの大切さを知った。

①レクチャーとワークショップを通して渡邊製作所
という会社に興味を持つようになったか。

本レクチャーとワークショップで、70%の履修生が、
渡邊製作所に興味を持つようになった。

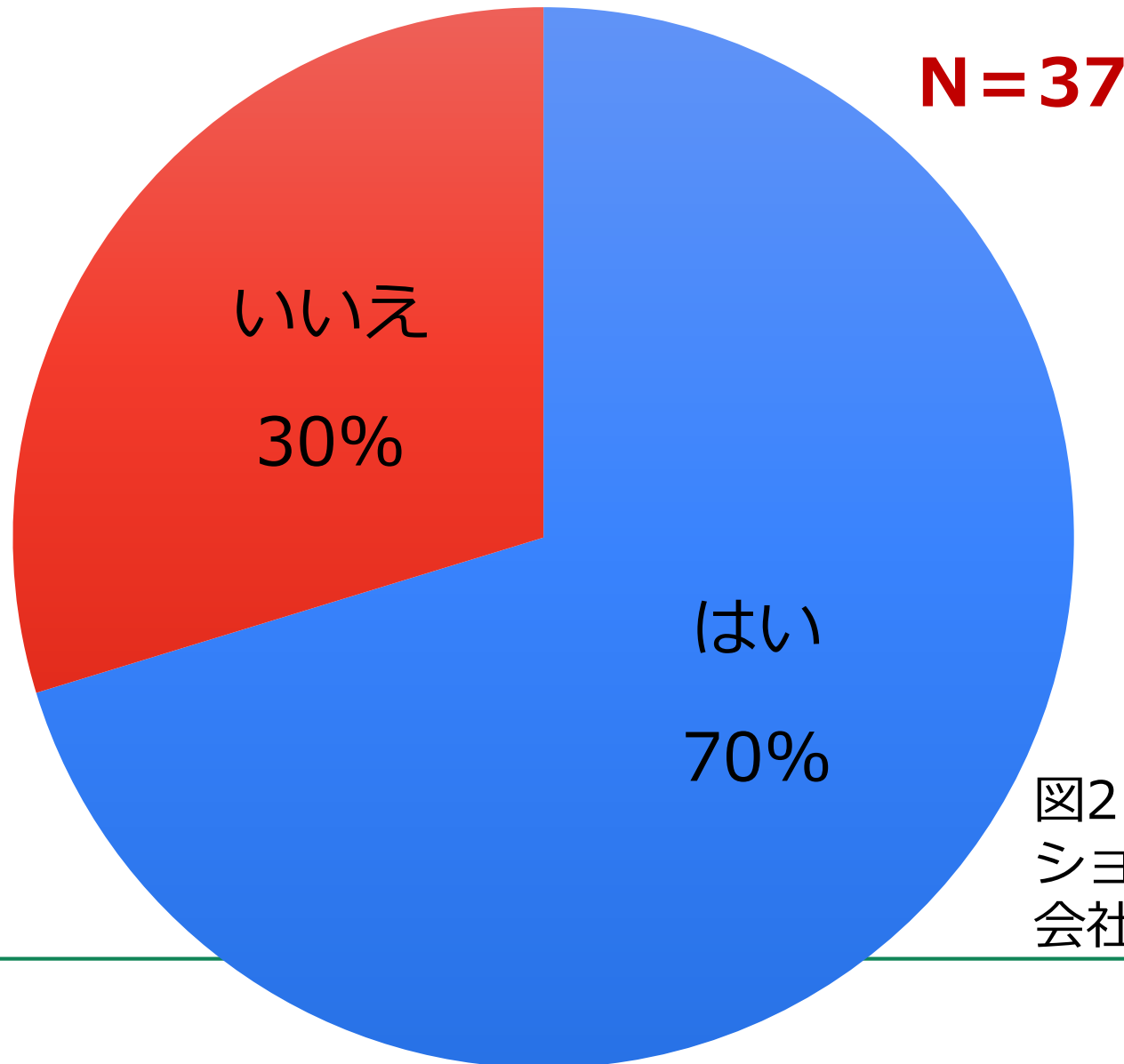


図2：本レクチャーとワーク
ショップの効果（=学生の
会社への興味の増加）

「はい」を選んだ人は、具体的にどの点に興味を持ったか。

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

日本人学生

- ・グローバルな環境、地元に根付いた企業、明確な理念、すべて技術者としてのプライドを感じ、企業の姿勢に興味を持った。企業のモノづくりの姿勢を学び、工学部でない私ができることがあるのかどうかを知りたいと感じた。もしできることがあるのならこの素晴らしい技術を広く伝えていくために尽力し、日本のモノづくり産業に貢献したい。
- ・海外進出を考えて土台作りに尽力している点。
- ・製品の製造という専門的な職種でありながら、社員同士の協力・連携を大切にしている温かな会社であると感じたから。
- ・プロ集団として、社会で貢献、利益を挙げている方々と触れられて考え方などに刺激を貰ったから。みんな、いつかは社会に出るため、学生のうちからそのような考えに触れたのは良かった。
- ・4年前からグローバル人材の採用が始まって様々な人な境遇を持つ人達と一緒に働ける環境があるという点に興味を持った。
- ・多種多様な製品を少しずつ製作している所が面白いと思った。国内でも多くの機械に使われていることを知り、これから海外にも販売していこうと考えている点、また、グローバルな人材を取り入れようとしつつも、社訓を大切にしている点も良いと思い、興味を持った。
- ・大きな企業に製品を売っていることが分かって、日本の技術を感じたから。

外国人留学生

- ・①紹介により、渡邊製作所の工場運営に興味を持った。
- ・②工場・社内の写真と現場での実演により、渡邊製作所の社風を理解するようになった。
- ・③採用統計により、渡邊製作所の外国人労働者の採用基準に興味を持った。
- ・インターンシップの内容も知りたいようになった。
- ・I am interested in how the company wants to expand globally and the products they'd like to work on in the future.
- ・結構トルクの機械ではなく、いろんな事業の分野があった所で凄いなと思った。全く縁がなかった工学の仕事などを見て不思議だと思ったし、どのような人材を求めているのかも知り、まるで就活しているようであった。
- ・元々は日本の会社に興味を持ち、渡邊製作所の製造分野もあんまり知らない専門なので、もっと知りたい。
- ・会社の紹介などを聞く中で、実際にデジタルトルクレンチを扱うことができるという点に非常に強く魅力を感じた。実際の体験や経験に基づく生きた学習の機会に恵まれていると感じた。
- ・I like the motivational quotes that they use and how they try to make a good working environment.
- ・製造会社としては凄いなと思った。チェーンのほぼ最初から最後までできるとは、一つ会社として中々ないと思う。アドレックやそのシステムも素晴らしい発明で、ヨーロッパにも多くの会社の改善に繋がると思うので、ぜひ、紹介してほしい。

「いいえ」を選んだ人は、なぜ興味を持たなかったか。

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

日本人学生

- ・もともと工学系にはあまり興味がなかったから。

外国人留学生

- ・出身は日本語学科なので、自分の条件と適応している仕事はないらしい。
- ・外国人労働者を雇用してくれて、多様性のある渡邊製作所は日本で働きたいエンジニアにとっていい会社である。しかし、文系の私には向いていないと思う。
- ・私は工学部の専門ではない。また、貴社の仕事は私にとって専門性が高いから。
- ・渡邊製作所が扱っている分野のことにはあまり詳しくないから。また、レクチャーで製造業の専門用語が多かったため、よくわからない内容があった。しかし、知識上にはよく理解できなかったが、製品の素晴らしさには驚いた。
- ・自分に合わない職業かもしれない。
- ・自分の専門分野とはあまり関係ないが、知識を得るには良いことであった。
- ・すみませんが、電気製品、あるいは作業用の製品に元々、興味を持たないから。
- ・自分の専門と関係ないから、ちょっと…
- ・残念ながら、私はこの製品にあまり興味がないので、渡邊製作所に興味を持つことができなかった。
- ・Unfortunately I'm not an engineer or a technician and they seem to only hire those.

①レクチャーとワークショップに関する 履修生全員の評価

95%の履修生は肯定的に評価した。

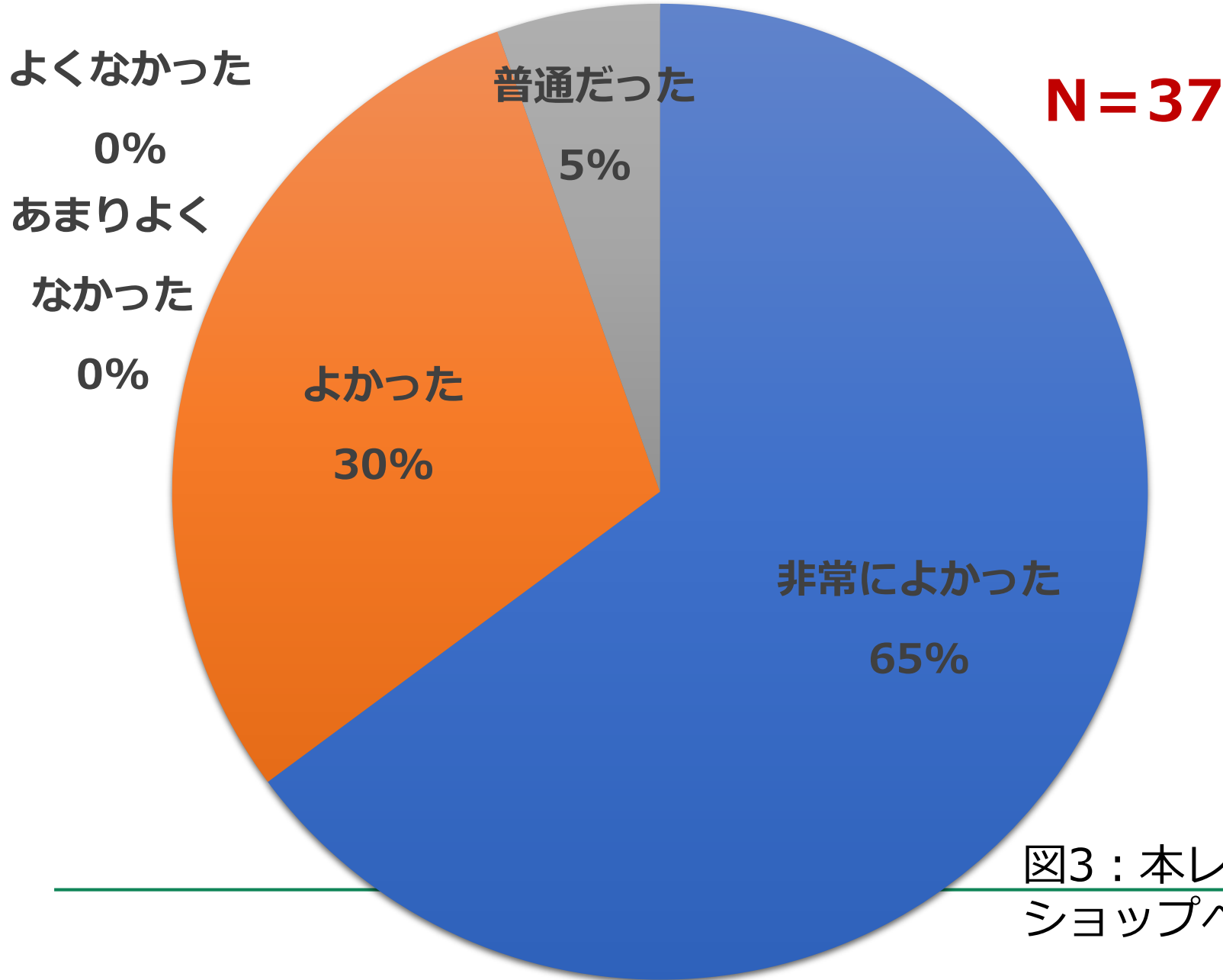


図3：本レクチャーとワークショップへの評価

本レクチャーとワークショップの良かったこと

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。



日本人学生

- ・①グループ内で事前課題で作ったビデオを評価したこと。自分ではまだ確認できていなかったビデオを見ることができたり、完成度の高いビデオをメンバーと共有して一番を決めたりして楽しくワークショップを進めることができた。②実際にデジタルトルクレンチに触れられる機会があったこと。画像でしか見たことがなかった渡邊製作所のデジタルトルクレンチを実際に触ってみるとビデオを作っていた時に感じなかった重さや質感、使い方を知ることができたので良かった。③発表の時にデモンストレーターという役があったこと。他のグループのデモンストレーターの発表を聞いて自分では注目しなかった部分に着目して話していたので、新しい視点に気づかされた。
- ・①日本の企業で実際に働いている外国の方の現状を知れた。②外国の方の考える日本企業の強みや、製品の売り込み方法を聞いた。③学生のパソコン技術の可能性を見い出せた。
- ・クラスの皆の意見をインターネット上で見ることができた点。実際の企業様のお話を聞いて企業として何を考えているか、目標にしているかを知ることができた点。
- ・実際に社会と触れられる機会がそもそも少ないので、実際に来ていただいてお話や四季報にあるような資本金の話など、就活にも使えるような情報も得られたから。
- ・企業がグローバル化に対応した人事採用を行っていること知れたこと。また、社長さんが直接説明してくださったので会社の理念や雰囲気を肌で感じることもできたこと
- ・商品紹介の仕方を実践形式で学ぶことができ、イメージしやすかったと感じた。
- ・同じチームのメンバーとコミュニケーションをとれたこと

外国人留学生

- ・①今まで触れたことのない新しいことに向き合い、皆がやる気になった。②社長や会社の方々と交流することで、新しい経験をたくさん積むことができた。また、製造会社について多くのことが勉強になった。③言語や知識を新しい方法で使用する能力、手本となる学習能力が向上した。
- ・①The lecture and workshop was very informative in terms of the innovations in Japan. ②I liked how there was a lot of information on the company. ③It was really great to have the physical item so that we could have a demonstration on how it works.
- ・①皆と協力することが大事だと感じた。実は日本語を勉強していてまだ足りなかった所があったが、それにも関わらずワークショップの発表の時、チームメンバーの〇〇さんに褒められて協力の大事さに気付いて良かった。②エンジニアの機械だったので難しかったが、社長さんに色々説明してもらい、凄く良かったと思った。また、事前課題で知らなかった所を備えて、発表をうまく進めた所がよかったと思う。③やはり自分が営業の社員として発表できたことが凄く良かった。これをきっかけに、もっと日本語と英語の勉強を頑張ろうとする力を得ました。
- ・簡単な日本語で説明してくれてレクチャーが分かりやすかった。また、PPTにフリガナがあり、読みやすかった。
- ・I learned how a Japanese company operates, their hiring methods and how diverse the company can be.
- ・日本の人材採用に関する紹介があり、日本の社会文化の勉強にもなった。また、実際に働いている外国人エンジニアの写真を見せてくれて親近感が高まった。

②企業見学（授業外活動、希望履修生のみ参加） 2023年6月17日（土）



☆希望履修生：合計5名（外国人留学生4名と日本人学生1名）

<外国人留学生>

【出身】オセアニア1名／ヨーロッパ1名／東アジア2名

【性別】男性1名／女性3名

【学年】学部2年生1名／学部3年生2名／学部4年生1名

【文系・理系】文系2名／理系2名

【カテゴリー】正規生1名／交換留学生3名

【日本語レベル】日本語能力試験N2合格者2名／N3合格者2名

※ヨーロッパ1名が結局、日程を調整できないため、不参加になった。

<日本人学生>

【出身】新潟県外

【性別】女性1名

【学年】学部1年生

【文系・理系】文系

【カテゴリー】正規生

【英語レベル】英検2級合格者名／準2級合格者名／3級合格者名

②企業見学への応募動機・目的

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

【興味深い点】交換留学生の3名は、①レクチャーとワークショップを通して渡邊製作所に興味を持たなかったと答えたが、以下の動機・目的により、②企業見学に応募した。

日本人学生1名

企業がどんなことを大切にしながらモノづくりに取り組んでいるのか、また新潟の地で製作していることで感じるメリット、デメリットはあるか、今後新潟に望むことはあるか、グローバルなこの社会で企業が大切にしていることは何か、などを知りたいから。それらについて実際に見学しながら教えていただきたい。

正規留学生1名

他の講義で、化学工場について学習したため、実際の会社の生産の様子を見てみたいと思ったから。会社にしてほしいことは、実際の生産過程を見ることが可能であれば見させていただきたい。

交換留学生3名

・ I think a company visit is a good way to learn about what Japanese work culture is like. Through the company visit, I want to see how coworkers interact with each other in Japan, and learn about the pipelines that a company might take to bring their product from ideation to market.

・ 日本の会社はどのように営むのか、また、この会社はどんな会社なのか、母国との違いがあるかどうか興味があり、知りたいと思うから。

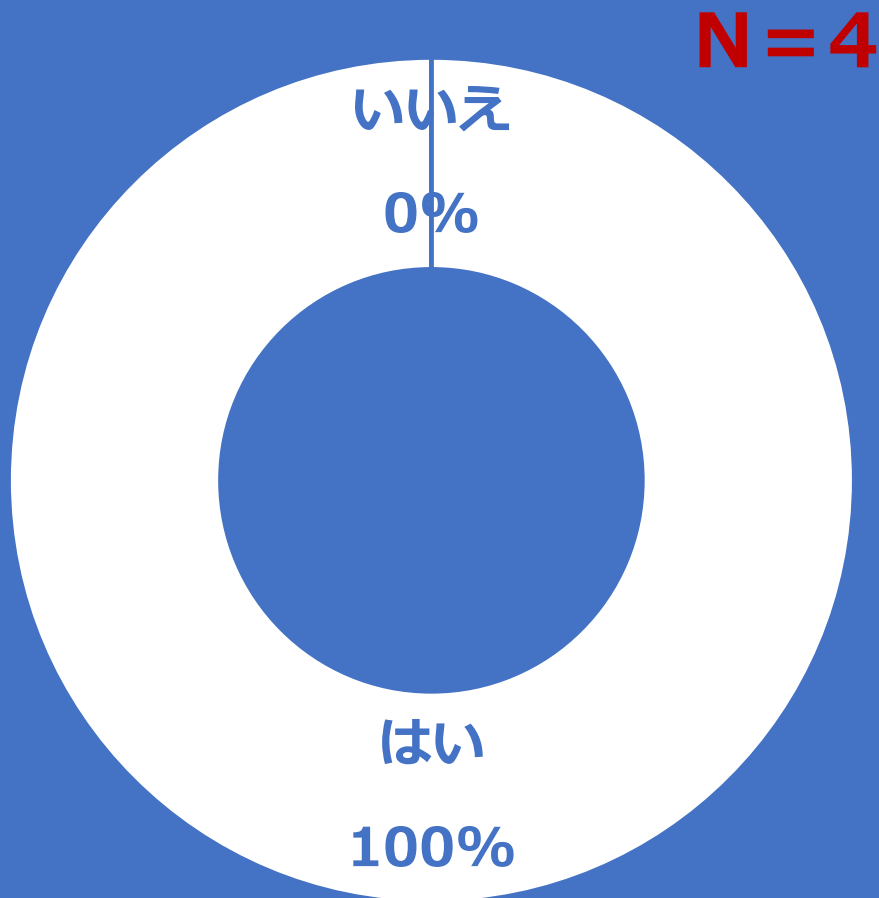
・ I want to see how a Japanese factory functions and learn about the factory.

②企業見学に関する参加学生の評価 1

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

1.会議室で説明を聞くことにより、
Watanabeの会社全体の仕事を
イメージすることができたか。

⇒会議室での説明から分かったこと
や気づいたこと



- ・ I learnt that a lot of processes go into manufacturing parts for big machinery. I learnt that there are multiple teams involved in taking a product from design to market.
- ①The marketing and sales team finds out the requirements of their clients. ②The design and production team creates technical designs based on the requirements specified. ③The manufacturing team develops the product from raw materials to refined and polished pieces.
- ・ 会議室での説明を聞いた後、ワタナベ会社はどんな製品に取り組むか、どんな仕事を提供するか、どんな会社理念を持っているかなどが分かった。
- ・ スライドで具体的に各職に対応する内容を詳しく書いており、実際現場で見学よりさらに理解ができた。
- ・ 授業で聞いたこととはまた別のお話が聞けてとても楽しかった。様々な職種がありどの職についてもまずは研修を行うということを知り、そうして社員全体が制作への理解を深めているのだと分かった。またSDGsへの取り組みについてもこういった企業で意識していることについて学べて良い機会になった。

②企業見学に関する参加学生の評価 2

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

2. 5月25日のレクチャーとワークショップ
で学べなかったことや知らなかったことは、
今回の企業見学で、学べたことや初めて
知ったことがあるか。

⇒今回の企業見学で、学べたことや
初めて知ったこと

N = 4

いいえ

0%

はい

100%

- ・ It would be interesting to see the processes of the sales team as well.
- ・ 機械を生産する現場を見て、具体的な仕事の内容が分かった。
- ・ 連続無災害日などに関することを理解できた。
ルールを守らないと事故に巻き込まれる可能性がある。つまり、日々、安全性を重視しなければならない。また、実際、初めて現場で工場生産の流れを見た。この体験は授業や教科書では学べることではない。
- ・ 多くの社員が資格や検定を取っていること、また社長自身がそういった手本となっていること、その結果と現状が目の付きやすい所に掲示してあること、など私の知らない資格と工場の取り組みを知った。労災の緑の十字の話など工場での工夫も色々知った。トルクレンチを利用した制作や手作業で一つ一つ磨いているところ、細かい数字を読み取って丁寧に検査していく様子などを見させていただいて、本当にプロフェッショナルで熟練の技で成り立っているのだと分かり、真摯に向き合っている姿がかっこいいと感じた。

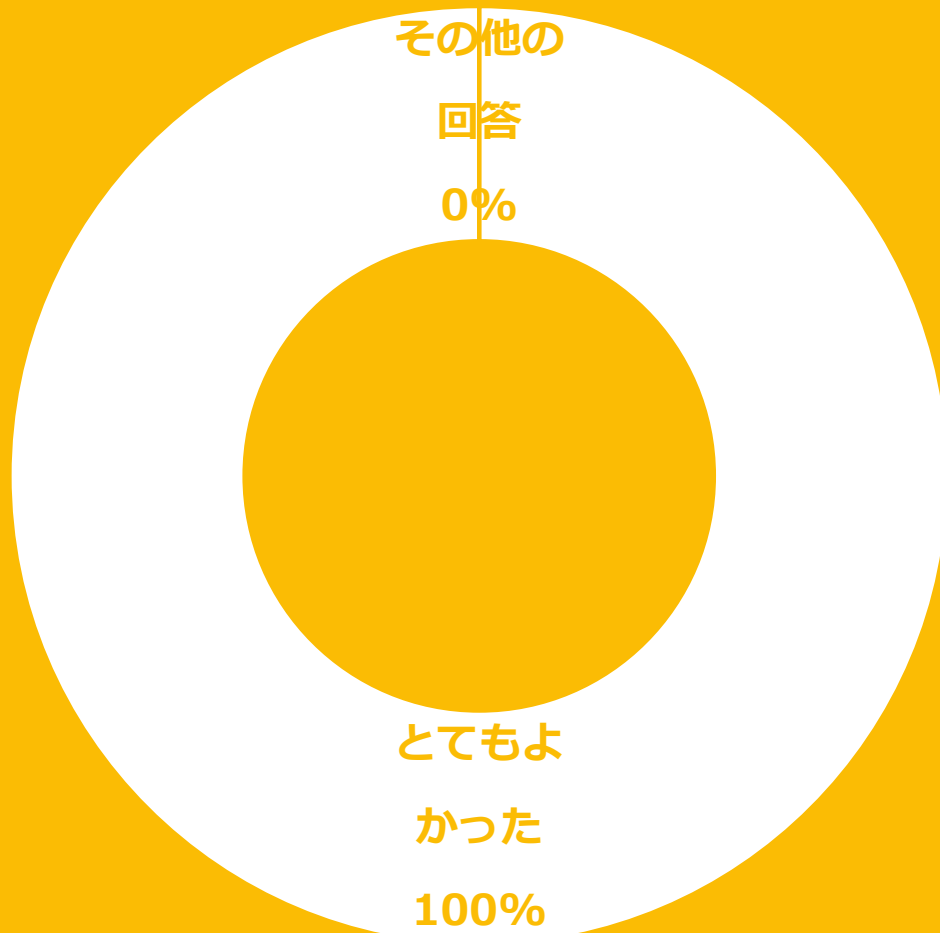
②企業見学に関する参加学生の評価 3

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

3. ランチ交流会はどうだったか。

⇒そう思った理由

N = 4



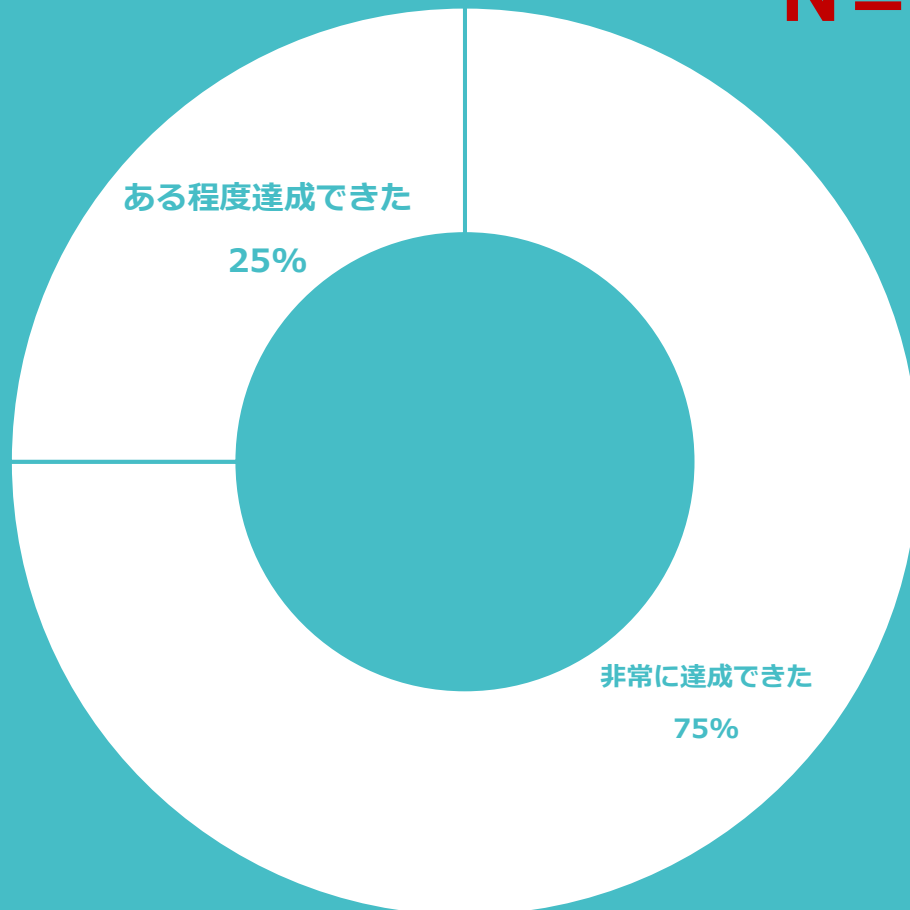
- ・ The food was delicious and I felt that we could discuss many things in a relaxed manner.
- ・ 意見交換などができたから。
- ・ 豪華なお弁当を食べました。
誠にありがとうございました。
- ・ お弁当が美味しくて最初は黙々と食べてしまったが、小さな疑問も話やすく社長とあきこさんの気さくなお人柄もあり、より渡邊製作所について理解することが出来た。留学生とも普段の様子や他の国のことについて話す時間となりありがたい機会だった。会社内でのお昼事情や新潟県の話も出来たのはお昼の時間があったからこそだと感じた。

②企業見学に関する参加学生の評価 4

4.以上のことから、今回のWatanabe企業見学では、あなた自身の成長目標をどれくらい達成することができたか。

⇒今回の②企業見学により、Watanabeのどの仕事に興味を持つようになったか。

N = 4



- ・ 交換留学生1名：
Marketing のみ
- ・ 交換留学生1名：
営業職のみ
- ・ 正規留学生1名：
生産管理職、品質管理職の複数
- ・ 日本人学生1名：
営業職、生産管理職、品質管理職の複数

②企業見学に関する参加学生の評価 5

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

5. 今回の企業見学を通して、日本の企業や日本のモノづくりの良さなどについて、 新しい気づきや発見があるか。

日本人学生

精工な技術と確かな信頼のもとに、大企業や私たちが良く目にする製品が存在するのは、間違いなく中小企業あつてのことだと改めて感じた。あれだけ大きな機械がある中でも油を落とす作業や磨きの作業、確認の作業等手作業が沢山あることに驚いた。何十年も工場で使われる機会を作る工場もすごいと感じた。こういった技術やここにしかない強みがこの先もずっと守られて、全国全世界に知られて欲しいと強く感じた。

外国人留学生

- ・ I developed a newfound appreciation for the efforts taken to create everyday machinery. I really liked how Watanabe's values revolve around curiosity and "work as play". Unlike Australian companies, which expect years of experience for an entry-level position, Japanese companies are a lot more willing to train passionate young people who don't have work experience in the field.
- ・ ある。生産はとても丁寧であること。皆さんはとても細かいところまで努力する様子に感動した。
- ・ 高い品質を目指していること。生産した製品を何度も検査して出荷するまでは、品質管理をしっかりとっている。

②企業見学に関する参加学生の評価 6

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

6. 今回のWatanabe企業見学を、今後の自分のキャリアにどう繋げていくと 考えているか。

日本人学生

社長が会社のことをよく理解していて、プライドを持って仕事をしていることが伝わり、そんな企業に私は就職したいと思った。どちらかという話すことや伝えることが好きな私はこのような日本の素晴らしい技を多方面に発信していける職に就きたい。今回の見学で作り手の意識を部分的にはありながらも肌で感じられたことは、この先誰かに技術を発信していくことになった際、心構えから変わるのではないかと考えている。グローバルな人材採用をして入社後も英語で対応するなど気を配っている様子や、知識が全くなくても人材育成をしっかりとっていくので大丈夫ですよ、と話していただいたことに会社として責任を持って採用を決めているのだという印象を受け、就活をするならそういった採用後のことも考えられる企業なのかどうかをしっかりと見たいと感じた。

外国人留学生

- ・ I'm interested in seeing how other Japanese companies operate and it opened my mind to working for internationally connected companies.
- ・ 日本や新潟産業の生産現場を見て、視野を広げることができた。
- ・ 学部や学科に関わらず、高卒でも良い技術者となることができるという観念を理解でき、将来就職先を決めるとき、研究者のみではなく、技術者として働くことが可能であると思う。仕事は何かということをおお体イメージができたので、非常に感謝したいと思う。

③就業体験（授業外活動、希望履修生のみ参加）



参加学生の都合により、同じ内容を2回実施

一回目：2023年8月17日（木）～18日（金） 二日間

交換留学生2名

二回目：2023年8月28日（月）～29日（火） 二日間

正規留学生1名

☆希望履修生：合計3名（外国人留学生3名）

【出身】 オセアニア1名／東アジア2名

【性別】 女性3名

【学年】 学部2年生1名／学部3年生2名

【文系・理系】 文系1名／理系2名

【カテゴリー】 正規生1名／交換留学生2名

【日本語レベル】 日本語能力試験N2合格者2名／N3合格者2名

③就業体験への応募動機・目的

※日本語、英語とも、やや標準的ではない言い回しがありますが、
受講生の発言を、できるだけ原文のまま、掲載してあります（以下同様）。

正規留学生1名

インターシップとは何かというそもそもの疑問があったため、その解消のためにも実際に経験してみたいと思ったから。

会社にしてほしいことは、実際の会社員としての業務、義務や責任などについて、できる範囲で体験したい。

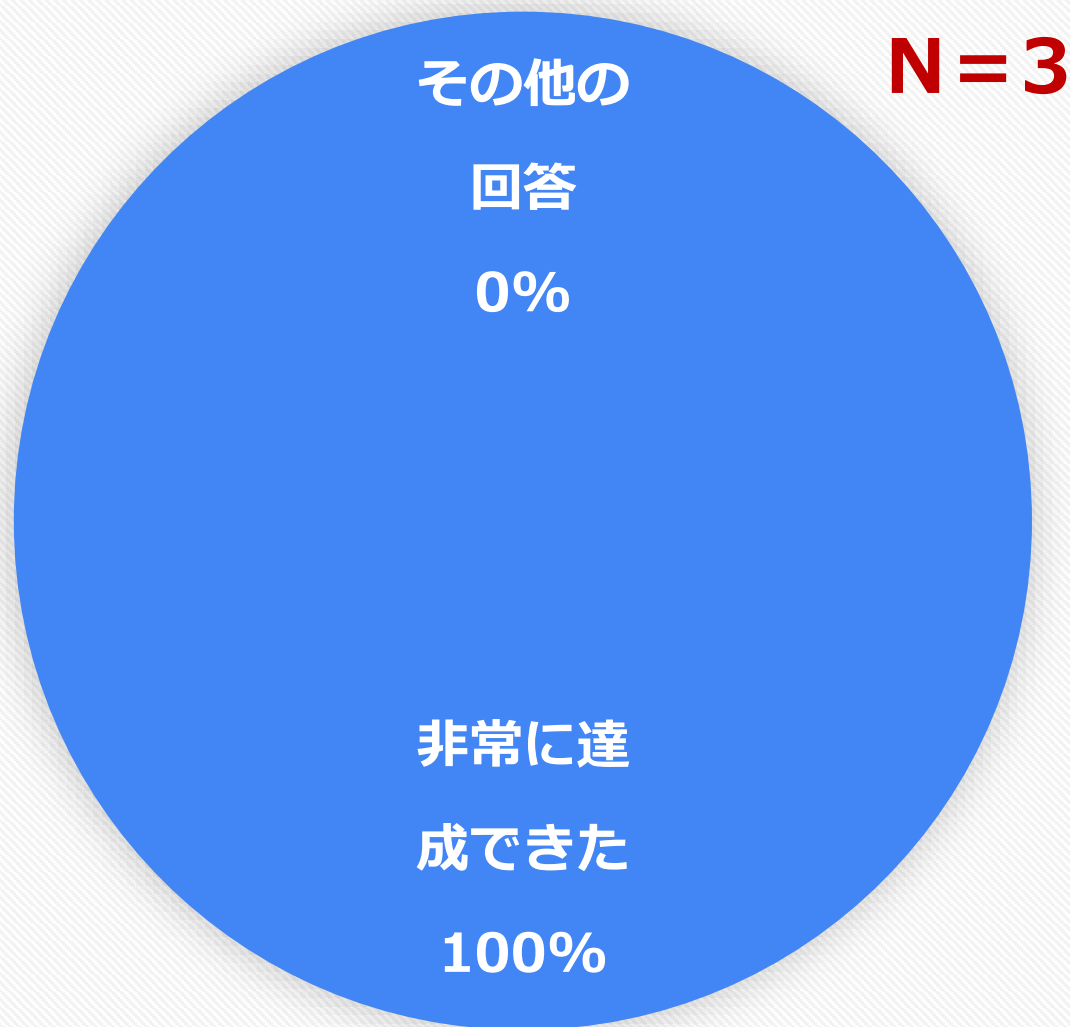
交換留学生2名

・ I'm interested in Japanese companies and work in Japan. I want to experience the cultural differences between Australian and Japanese companies. I study a degree in Design in Visual Communications at my university in Australia, so I would also like to learn more about Japan's design culture. I've worked in design in Australia before, and I've worked in freelance illustration as well. I think if I intern at this company, I would like to produce designs or illustrations.

・ 日本の会社の営みを知りたい、視野を広げたい、自分が何をやりたいのかを見つけるため、働き方について考えるためである。会社のことについて詳しく紹介してほしい。

③就業体験に関する参加学生の評価

今回のWatanabe就業体験は、あなた自身の成長目標をどれくらい達成することができたか。



⇒自己評価の理由や根拠とは

- ・ I was able to learn how WATANABE operates and experience Japanese working culture.
- ・ 日本の機械の製造現場で身をもって経験することができて、そして、たくさんの話ができて、良かったと思うから。
- ・ 生産業についての具体的な業務のイメージができるようになった。どのようなスキルが実務の場で求められるのかを把握することができた。特に、プログラミングの体験において、興味関心を高める中で、実際の業務にどのように還元させていくのかについて考えを巡らせることができた。

2. 今回の連携先である新潟地元企業の 紹介・連携への評価や気づき

(株)渡邊製作所 会社概要

WATANABE

当社は新潟県の中央に位置する「加茂市」にあります。

豊かな自然に恵まれ、北越の小京都と呼ばれる情緒あふれる街です。



創業

1978年(創業45年)

従業員

123名
(うち外国籍5名)

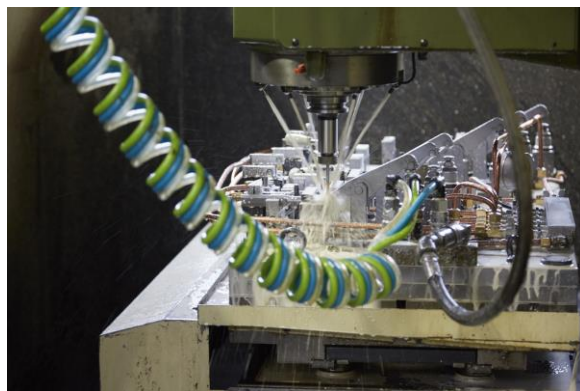
(株)渡邊製作所 会社概要

WATANABE

事業内容

精密機械部品の製造・組立
自社製品デジタルトルクレンチの開発・販売

機械加工



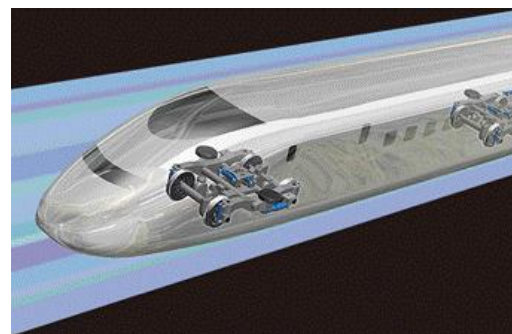
組立



自社製品

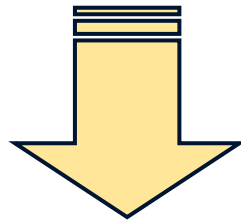
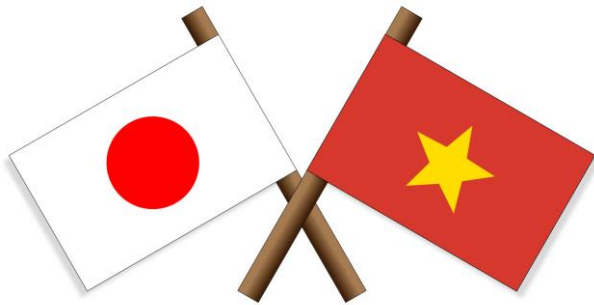


当社は技術力で社会インフラを支えている会社です！



新潟ベトナム協会

Hiệp hội Việt Nam Niigata



ベトナムで機械工学を学んだ
エンジニアを採用！

JETRO

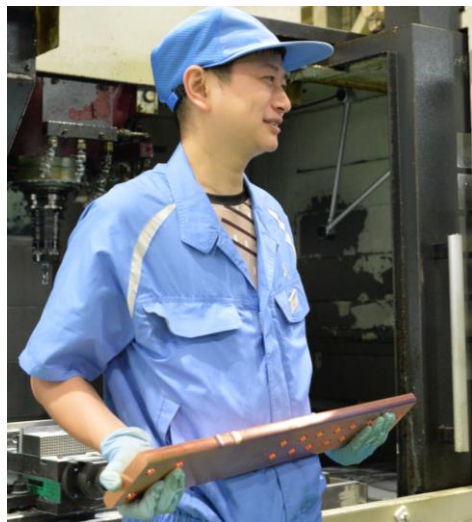
日本貿易振興機構(ジェトロ)



日本の大学・大学院で学んだ
外国人留学生を採用！

外国籍エンジニアの紹介

WATANABE



職 種	機械技術職	
専攻内容	機械工学 電気電子工学	
国 籍	 4名	 1名
在留資格	技術・人文知識・国際業務	
日本語力	JLPT N2～N4相当	



日程	2023年6月17日(土) 10:00~13:00
内容	①会社紹介 ・モノづくりの流れ ・各職種の仕事内容 ・成長支援／SDGsの取り組み ②工場見学 機械加工、組立、検査 ③懇親会 兼 昼食会



1st day 2024年8月17日(木)／8月28日(月)	
10:00～11:00	会社紹介・オリエンテーション
11:00～12:00	自社製品の開発部門・生産技術部門の見学
12:00～13:00	昼休憩（食堂で社員用のお弁当を試食）
13:00～14:30	検査業務の体験
14:30～15:00	機械加工に関するレクチャー

2nd day 2024年8月18日(金)／8月29日(火)	
10:00～11:20	CAD製図の体験
11:20～11:40	機械加工の見学
11:40～12:00	製品の仕上げ業務の体験
12:00～13:00	昼休憩（食堂で社員用のお弁当を試食）
13:00～14:00	ユニット組立の体験
14:00～15:00	2日間の振り返り

【開発部門の見学】

デジタルトルクレンチの使用体験
や校正作業の見学をしました。



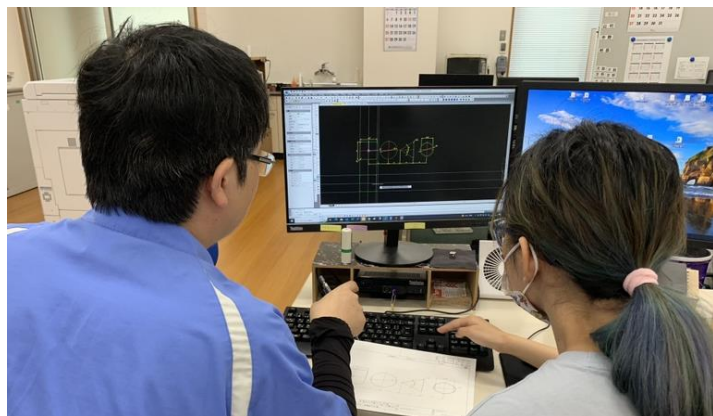
【検査業務の体験】

測定器具を使って測定の練習をしました。
特別に三次元測定機の操作も体験！



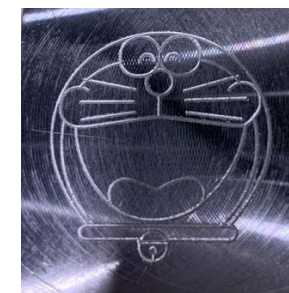
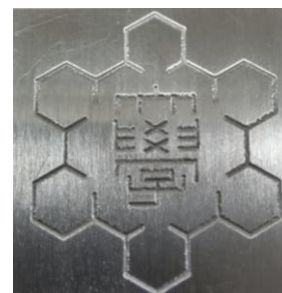
【CAD製図の練習】

簡単な図形の作成を練習しました。



【仕上げ体験】

機械加工後の品物の表面をきれいに仕上げました。



【製品の組立体験】

本物の製品を組み立てました。



(1) レクチャー&ワークショップ

海外向けのプロモーションについて、社内の人材には無い切り口での多くの訴求方法を学生から提案され、大変刺激的であった。今後の海外展開における具体的なアイデアを得る非常に貴重な機会となった。

(2) 会社見学

専攻内容や性別などに関係なく、事業に興味を持ってもらえたのは嬉しい驚きであったと同時に、採用活動の対象者やアプローチ方法などを見直す好機となった。

(3) 2days 就業体験

参加学生がモノづくりを新鮮な感性で捉え、弊社の仕事に対する姿勢や技術力を高く評価してくれたことは大変嬉しかった。今後も就業体験を通して多くの学生にモノづくりの面白さや魅力を積極的に伝えていきたい。

3. 今回の三本柱から分かったこと

- ◆①のレクチャーとワークショップにより、学生に企業や業界の最新情勢を知ってもらうことができる。また、企業や業界が直面している課題を学生に提示し、実際に考え、調べてもらった上で、多国籍の学生同士、および企業と学生との議論により、その解決策を探ることは、学生にとって評価や効果が高いキャリア教育になった。また、学生の意見や提案などは、連携企業にとって、課題解決の参考やきっかけになったり、企業のグローバル人材採用・育成・活躍にも繋がったりする。
- ◆②の企業見学と③の就業体験は、学生に、レクチャーとワークショップの授業活動で体験できないことを、実際に体験してもらうことにより、キャリア形成促進や、将来、就職に必要な社会人能力の習得につながる。
- ◆レクチャーとワークショップだけでは、学生は必ずしも当該企業や業界に興味を持たなかったが、企業見学と就業体験を一緒に行うことにより、学生にその企業や業界に興味を持つようになった。
- ◆①レクチャーとワークショップ、②企業見学と③就業体験の三本柱の総合実施は、一本柱だけに比べて教育効果がより高いことが明らかになった。

4.今後の予定や課題

☆日本人学生と外国人留学生との③就業体験の教育効果：

今回、①のレクチャーとワークショップと②の企業見学は日本人学生と外国人留学生の共修であったが、③の就業体験は外国人留学生のみであった。今後、日本人学生と外国人留学生による③の就業体験は、より高い教育効果が得られるかを検証する必要がある。

☆英語による②企業見学と③就業体験の産学連携や機会提供：

外国人留学生だけではなく、日本人学生にとっても、国際的なキャリア形成やグローバルな仕事の発見のため、英語による②企業見学と③就業体験を増やす必要がある。そのため、大学が地元企業や地域社会との連携により、そのような環境・機会を創り出して学生に提供することも重要になる。

ご清聴ありがとうございました！

WATANABE

WATANABE



モノづくりは面白い

本気で遊ぶから



If you **play** hard, **FabLab/manufacturing** will become more interesting!